

有機栽培のミニトマト・自然栽培の米

生産者：よしもりまきば 大口 義盛 さん

(北海道久遠郡せたな町北檜山区愛知 275)



微生物が好む土や空気。生き物がありのままで生きる生態系を尊重し、循環する輪の中に農家も入り、土壌が、環境が、子どもたちの代にはもちろん、その次、またその次の代へと続いていってほしい。そう語る大口さん。北海道せたな町から、作物も、自然環境も、地域の思いも、次の世代につないでいく。

■ハウス内の様子



■田んぼの様子



米 (自然栽培・有機栽培)

「ななつぼし」「ふっくりんこ」「おぼろづき」「ゆきひかり」を栽培。せたな町の風土を活かし、自然に寄り添った栽培方法で育てられている。現在はお米屋への卸売りと、個人客への直接販売をしている。



ミニトマト (有機栽培)

規格外品を農場内のひつじのエサとし、その堆肥を使って栽培。敷地内での循環を感じられる生命力の高いトマトは、驚くほどの甘さと香りが特徴。切ってから食べるとさらに美味しさを感じることができる、と大口さんは言う。